

| 学校運営方針 | | 学校運営計画（4月） | | | 評価（3月） |
|---|---|---|---|---|--|
| | | 1 知・徳・体の伸長と調和を図り、情操豊かで進取の気概に充ち国際性に富み、将来国家社会に貢献できる人材の育成を目指す。 | | | B |
| | | 2 すべての生徒をわが子として育む学校を目指す。 | | | |
| 昨年度の成果と課題 | | 年度重点目標 | 具体的目標 | | |
| 1 成果 (1) 基礎学力の充実・向上 (2) 進路実績の大幅向上 (3) 指導件数の大幅減少 | | (1) 学習意欲の向上と基礎・基本を重視した学習指導の徹底 | ア 基礎学力の充実・向上に努め、生徒自らが積極的に学習する態度を育成する。 イ 授業内容の精選・充実に努め、生徒の学習理解の深化を図る。 ウ 新教育課程の効果的運用をはかる。 | | |
| 2 課題 (1) 教科指導の充実・工夫 (2) 進路意識の早期確立 (3) 通学マナーの向上 (4) 広報活動の工夫・改善 | | (2) 希望進路の実現を目指した進路指導の徹底 | ア 生徒個々の特性を生かした進路の実現を図るため、早期から進路指導の徹底を図る。 イ 進路に対する意識を高めるために計画的、継続的、組織的な指導を行う。 | | |
| | | (3) 生徒指導に基盤を置いた教育の徹底 | ア 基本的な生活態度を涵養し、責任を重んずる誠実な人間となるための指導を行う。 イ 師弟同行の教育実践を通して、生徒自らが本校で学ぶ喜びと誇りを持つ指導を行う。 ウ 生徒会の主体的な活動を促し、一人ひとりが心の通った友人関係を築く指導を行う。 | | |
| | | (4) 生徒の安全面への配慮と健康の増進 | ア 健康診断後の治療勧告を行い、健康管理能力の向上を目指す。 イ 安全点検、安全教育を定期的に行い教育環境の安全・危機管理意識の向上を目指す。 | | |
| 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | 評価（3月） | | 次年度の主な課題 |
| 教科指導 | 生徒の実態に応じた指導を行い、生徒の学力向上をはかる | 生徒による授業評価を実施し、その結果を教科別、個人別に分析することで授業改善に役立たせる。 | A | B | <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価は計画通りに実施し、集約および分析を行ったが、教員個々の授業改善に結びつけるまでには至らなかった。教科内における研修等の充実をはかる必要がある。 ・考査前の補講等は各学年で計画的に実施できたが、学習意欲に欠ける生徒も見られた。教師側も授業改善により一層励み、日常の授業で学力向上をはかる必要がある。 ・突発の年休・出張に際しては振替、代替措置により対応することができた。この点については来年度も引き続き全職員の協力をお願いしたい。 |
| | | 考査毎に結果の分析・検討会を教科毎に設けることで、生徒個々に応じた指導方法の工夫・改善を図る。 | B | | |
| | | 考査前の学習会、補講等を企画し、欠点保有者の半減を図る。 | B | | |
| | 授業時間の確保に努める | 年間をととして授業時間の確保や、授業時間の均等化を図り、実施授業時数を昨年度より増加させる。 | A | A | |
| | 授業環境の整備に努める | 教材の持ち帰り指導、ロッカーの整備、教室の美化等に積極的に取り組む。 | B | | |
| 進路指導 | 希望進路の実現を図る。 | ①校内・校外実力考査の反省や結果のデータ分析の活用および自己分析をさせる充実を図る。 | A | B | <ul style="list-style-type: none"> ・課外の充実はしているが、遅刻や欠席に関してはまだまだ多い時期がある。進路意識の高揚をはかっているが、まだ学習へと結びついていない点の工夫が必要である。 ・受験は3年だけで行われるのではなく1、2年からの指導の充実の工夫が必要である。 ・LHR等の活用の工夫が大事である。次年度は、LHRだけでなく意識付けに工夫を行いたい。 |
| | | ②課外（早朝・放課後）を充実させ、土曜の効果的な活用を図り、生徒の学力定着を目指し、希望進路を実現させる。 | B | | |
| | ③昨年度の進路実績を上回るよう各学年に進路から資料を提示しながら意識付けをし、進路実現を図る。 (目標・・・合格者数 昨年度の1.1倍) | B | | | |
| | 進路関係行事を充実させる。 | ① LHR、進路講演会、先輩に学ぶ、大学からの出前授業、企業人による講演などを実施し、進路意識の高揚を図る。 | A | A | |
| 人権教育 | 基本的人権を大切にする生徒の育成をはかる。 | 年3回の特設授業において、参加体験型の授業を工夫し、生徒の人権感覚の向上をはかる。 | A | A | <ul style="list-style-type: none"> ・特設授業における参加体験型の授業は、工夫が進んだが、さらに第2学年での授業を工夫する必要がある。 ・今年度の研修の講演は良かった。次年度もさらに研修の内容を工夫したい。 |
| | | 人権教育に関する職員研修会を通して、人権教育の指導力向上をはかる。 | B | | |

| | | | | | | |
|--|--------------------------------|---|---|---|--|--|
| 生徒指導 | 基本的生活習慣の確立 | ①担任・副任と連携し、遅刻・欠席を0.4%以内に減少させる | B | A | A | 新学期が始まり、緊張感がある1学期から2学期の途中までの間は遅刻数は少なかった。しかし、後半の部分で数が増してきた。遅刻しないように早めの対策を行う。挨拶は来客の方から素晴らしいと誉めていただくまでであった。地域の方より下校時の交通マナーが悪いと苦情の電話が何件かあった。生徒が事故に遭遇するようなことがあってはならない。交通マナーについては厳しく指導する必要がある。本年度の生徒会は活発的で、良く学校をリードしている。よって学校行事が盛んになり、活性化してきている。 |
| | | ②頭髮・服装の指導を全職員で徹底し指導する | A | | | |
| | | ③挨拶日本一運動を目指し、気持ちのよい学校にする | A | | | |
| | 交通安全指導の徹底 | ①交通安全教室を行うことにより、自分の安全を守ることや、地域の住民の方々に迷惑にならぬよう交通マナーを身に付ける | B | B | | |
| | | ②全職員による朝課外及び下校時の交通指導を行う | B | | | |
| | | ③5月と10月に自転車点検を行う | A | | | |
| | 徒会活動の充実 | ①生徒会及び各種委員会が活性化するよう努める | A | A | | |
| ②生徒会が中心となって学校行事(体育祭・文化祭)を伝統あるものにしていく。さらにボランティアの活動も積極的に行う | | A | | | | |
| 特別活動の充実 | ①部活動加入率を70%以上にする | B | B | | | |
| 保健指導 | 健康管理に対する意識を高める | ①健康診断後の治療勧告については3者面談の際に連絡を行い、確実に治療を行うよう指導し、健康管理に対する意識を高める。 | B | A | B | 健康診断の結果については1学期末の3者面談の際に保護者に通知し、治療勧告を行っているが、治癒率は低いようである。来年度はこのことを踏まえて確実に治療するよう働きかけていきたい。 清掃活動については各区域の監督者による指導により、徹底されているがその後汚れたりゴミが散らかるといった状況が多く見受けられた。次年度は日頃からゴミを散らかしたりしないように生徒の規範意識を高めていくための取り組みを実践していく必要がある。 |
| | | ②スクールカウンセラーの有効利用を図り、生徒が心身ともに健康的な学校生活を営むことができるよう配慮する。 | A | | | |
| | | ③薬物乱用防止教育の内容充実を図り、薬物には絶対に手を出さない姿勢を身に付けさせる。 | A | | | |
| | 環境美化整備につとめる | ①掃除道具などの充実を図り、掃除監督者による清掃方法の指導を行うことにより効率よく清掃活動が出来る環境を整え、校内美化を推進する。 | B | B | | |
| 職員研修 | 本校教職員の力量形成に資する研修を推進する。 | ・本校教職員の実践を活かした研修の場を設ける。 | A | A | B | ますます増加する多様な生徒たちに対応出来る力量形成を主眼としたい。そのためには中学校や関係機関と連携した研修を充実する必要がある。併せて、日常の業務処理だけに終始せずプロとしての教育技術を磨く意識を校内に醸成するよう、有効な企画と仕掛けを構築する。 |
| | | ・生徒理解及び指導方法に関する研修を実施する。 | A | | | |
| | | ・すべての教科における授業研究を推進する。 | B | | | |
| | 本校の課題解決に向けて、研修の充実を図る。 | ・未来構想委員会を通じて、本校の目指す将来像を策定する。 | C | B | | |
| | | ・学校改善に関わる情報等を収集・分析する。 | B | | | |
| | ・テーマ別研修や学校訪問等を支援し、かつ改善に寄与する。 | B | | | | |
| 図書 | 図書館利用の促進、図書委員会活動の活性化を図る | ①資料の収集・蔵書の充実を図り、利用、貸出増加を目指す。 | B | A | A | 朝の読書は3年目を迎え、生徒の間に定着した感があるが、図書館の貸出数は伸び悩んでいる。より魅力的な図書館をめざすと共に、広報活動にもさらに力を入れ、生徒の読書意欲を喚起したい。また、生徒の自主的活動を推進したい。 |
| | | ②図書委員の積極的な活動を促し、カウンター当番の他、図書館だより「風つうしん」の定期的な発行を支援する。 | A | | | |
| | 「朝の10分間読書」の支援体制を確立する。 | ①図書委員や先生方の「お薦めの本」を紹介し、生徒の読書欲を高める。 | A | | | |
| 芸術科教育の充実に努める。 | ①芸術科教育内容を充実させ、本格的指導を定着させる。 | B | B | | 1年生においては芸術科教育の定着のために徹底した個別指導を行い、教育目標へ向けてさらなる指導を行った。結 | |
| | ①生徒、保護者、地域が要求する高い進路目標を実現させるため、 | | | | | |

| | | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---|---|--|
| 芸術科 | 希望に沿った高い目標の進路実現を目指す。 | 科独自の指導体制を作り、一致して取り組む。そのために 実技指導、公募展出品等、実績を積ませる。芸術科生全員が何らかの展覧会で入選を果たし、95 パーセントを上回る入選率を目指す。 ②芸術科教員の密接な協議を行い、連携のとれた指導体制を作り、多種多様な進路に対応する。進路実現達成率 90 パーセントを目標とする。 | B | B | B 果として新聞等に多数掲載され実績を残した。 2 年生においては科の中心学年として学習面や制作面において模範となるべき指導を図った。その結果、昨年に引き続き高文連全国大会、九州大会代表や 3 年ぶりに旺文社全国科学芸芸コンクールで金賞を獲得した。学力面においてはやや伸び悩んでいる。 3 年生においては進路に即した指導を行い、例年並の成果をおさめた。卒業制作展は早期から運営の指導を行い、成功をおさめた。このような活動成果を中学生進路相談事業や中学校単位、個人単位の学科案内等で広報に努めているが、十分周知されていないので方策を再考したい。 |
| | 広報活動に努め、芸術的な意欲を持った生徒を募集する。 | ①本校芸術科教育に応える意欲ある生徒募集のため、生徒職員一丸となり本校芸術科（美術・書道）の教育内容の広報に努める。また、各地区中学生進路相談事業へ参加し、本校の芸術教育の周知徹底に努める。 ②体験入学のみならず、中学校単位、個人単位の学校見学も積極的に受け入れ教育内容を理解してもらう。 | B | B | |
| | 国際性の涵養と情報教育を行う。 | ①本校芸術科の特色作りと国際性、社会性の涵養のため、国内研修を行う。また、海外研修にも積極的に取り組む。 ②国内研修にあたっては情報教育にからめた事前研修を十分に行い、実りあるものとする。 | B | B | |
| 英語コース | 英検や TOE I C 等の資格試験受験を奨励する。 | ①英語コースの生徒は英語検定の毎回の受験を勧める。コース全体で 2 級取得者 3 0 名を目指す。できれば準 1 級の合格者も出したい。 ② TOE I C の学校受験を実施し、得点伸長を図る。 | B | B | B 2 級の合格者数と TOE I C の得点が伸び悩んでいる。学力の 2 極化を防ぐための方策が必要。 生徒はコース行事に積極的に参加し、効果が上がっている。県のディベート大会で準優勝し、九州大会へ進んだことは大きな成果だった。カナダ、ドイツから計 3 名の留学生を受け入れ、本校からアメリカ、イギリス、オーストラリアへ計 4 名派遣した。生徒たちの国際人としての資質と学習意欲を高める一助となったので継続していきたい。 来年度は 3 年間を通して、系統的な進路指導ができるように工夫したい。 配布用の英語コース紹介ビデオを作成できたのはよかったが、ホームページの内容が不十分である。進路指導に影響力が強い塾への訪問回数を増やしたい。立命館アジア太平洋ツアーは参加者が減ったので、来年度は時期を再考したい。 |
| | 国際理解教育を推進し、国際人としての資質を高める。専門科目の内容を充実させ、英語運用能力も高める。 | ①総合学習、サマーキャンプ、海外研修、英語劇等のコース行事に積極的に参加させる。 | A | A | |
| | | ② A L T を活用し、ディベート等の授業を更に充実させる。3 年間の専門科目の内容を検討し、より効果的な教授法を模索する。 | A | | |
| | | ③本校生徒の留学を奨励し、留学生も積極的に受け入れる。 | A | | |
| | 進路実現に努める。 | ①大学進学、海外留学、専門学校、公務員と多様な希望進路を実現させるため、きめ細かな進路指導を行う。 | B | B | |
| | | ②本校在学中に留学した生徒のため適切な進路指導を行う。 | A | | |
| 広報活動を活性化し、意欲ある生徒の志願拡大に努め、昨年度の競争率を上回る。 | ①ホームページを更新し、英語コース通信を最低 1 ヶ月に 1 回発行し、リアルタイムな情報を提供する。英語コース用のパンフレットも改定し、可能であれば、中学生配布用の英語コース紹介ビデオを作製する。中学校訪問の回数を増やす。 | B | B | | |
| | ②中学生対象の英語暗唱大会、体験入学、立命館アジア太平洋ツアーの充実を図り、コースの内容を理解してもらう。 | C | | | |

